

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和2年度第2回相模原市入札監視委員会		
事務局 (担当課)	契約課 電話042-769-8217 (直通)		
開催日時	令和2年10月12日(月) 午前9時30分～11時30分		
開催場所	相模原市役所 本庁舎第2別館3階 第3委員会室		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	21人(財政部長、契約課長、技術監理課長 他18人)	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	法人に関する情報又は個人の当該事業に関する情報であって、公にすることにより当該法人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れがあるため		
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 入札契約手続の運用状況等について</p> <p>(2) 抽出事案の審議について【非公開】</p> <p>① 市道新戸相武台道路改良工事(その29)</p> <p>② 市道小山8号ほか舗装新設工事</p> <p>③ 峰山霊園合葬式墓所(樹林型)建設工事</p> <p>④ 峰山霊園合葬式墓所(樹林型)建設電気設備工事</p> <p>⑤ 市道阿津8号災害復旧工事</p> <p>⑥ 県道516号(浅川相模湖)災害復旧工事</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 議 題

(1) 入札契約手続きの運用状況等について

事務局から、令和2年4月から6月までの入札契約手続きの運用状況等について説明した。

○災害復旧工事について、ほぼ最低制限価格での落札だが3、5番の落札率が少し高い。工事の状況、内容は想定されていて最低制限価格を計算できていると思われるが、この2件の落札率が他と比べて高いのは何か理由があるか。(下島委員)

●災害復旧工事については危険性や法面工事が多いため、専門性が通常の工事に比べて高い。そのため、法面職人を確保できるかどうか重要な点となる。災害復旧工事を含め、通常の土木工事においても最低制限価格を計算することはできるが、災害復旧工事は通常の工事より、敬遠される傾向があるので落札率は高くなる傾向がある。また、個々の現場の状況や発注時期によっても落札率が上下することもある。

○同じような時期に発注したということか。(下島委員)

●通常の工事だと第一四半期、第二四半期と時期が遅くなるほど落札率の高くなる傾向があるが、災害復旧工事に関しては年度当初の入札でも落札率が高い工事がある。東日本台風から1年経ち、広範囲で被害が出ていたため、法面職人の手配が難しい状況にある。

○放流管の工事に関して、今回2件ありいずれも落札率が高くなっている。別の単価の案件で高度処理型浄化槽の案件では、最低制限価格での入札でくじとなっているが、その違いや工事の特徴はあるのか。(細田委員長)

●高度処理型浄化槽については、浄化槽を仕入れて設置するというような簡易的な工事となっている。物の仕入れ方でメリットを生かせる案件だと思われる。放流管工事については、設置する場所において、浄化槽と排水地点をつなぐ管が長く、どのくらいの長さのものが必要か不確定なこともあり落札率が高くなったのではないかと推察される。

○随意契約について。契約金額はどのように決定するものなのか。(川合委員)

●業者が来庁し、見積書を提出する。その見積書の金額が、今回の案件では最低制限価格から予定価格の間であれば契約となる。

設計する段階で参考見積もりはもらうが、参考見積額が予定価格になるとは限らない。設計に対して、いくらで応札するか随意で選んだ相手だからといって、その場で契約ができる訳ではない。

○業者からの見積もりを検討したうえで設計金額が決まるということか。(川合委員)

●はい。

○総合評価について、評価値が高く入札金額が高い業者が落札するような逆転現象が起きる中で、価格で決まる件数も多いようだが、どのような見解をお持ちか。

(梶田委員)

●今回の逆転現象が起きている案件の例を挙げると、1位と2位の入札価格の差が約20万円ほどだったが、落札者の技術点が2位より0.5点上回っているので逆転している。ただ入札価格が大きく影響してくるのは確かである。実際の入札の金額や配点等の相対的な関係のバランスが、どのくらいがいいのか、常に確認はしている。

○データがそろってくれば制度の見直しもできると思うので、是非確認し検討していただきたい。(梶田委員)

●総合評価方式の制度について、本市ではこれまで評価項目等の見直しは続けてきたが、平成30年度から本格運用を始めているが、状況に応じ制度の見直しは必要だと考えている。

○技術点の高い業者の入札価格が低いということは極めて安心だと考える。技術点に差がつくと技術点2位の業者が逆転するには、相当価格を下げないと落札できない。技術点が高いと、入札価格が高くてもとれる。技術点と価格のバランスが悪くなると、技術点でほとんど決まってしまうこともある。どちらがいいのか、なかなか難しい。(細田委員長)

(2) 抽出事案の審議について【非公開】

- ① 市道新戸相武台道路改良工事 (その29)
- ② 市道小山8号ほか舗装新設工事
- ③ 峰山霊園合葬式墓所 (樹林型) 建設工事
- ④ 峰山霊園合葬式墓所 (樹林型) 建設電気設備工事
- ⑤ 市道阿津8号災害復旧工事
- ⑥ 県道516号 (浅川相模湖) 災害復旧工事

法人に関する情報又は個人の当該事業に関する情報であつて、公にすることにより当該法人等の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れがあるため、内容非公開。

相模原市入札監視委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	梶田 佳孝	東海大学 土木工学科長		出席
2	川合 きり恵	弁護士		出席
3	下島 康史	桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 准教授		出席
4	舟戸 麻衣	公認会計士・税理士		欠席
5	細田 孝一	神奈川大学 法学部教授	委員長	出席